記者の方の話を聞いて、その記事の内容に関係している人物を見つけるということがとてもすごいなと思いました。どの記事も1日でそういったことをしているのかなと思っていたけれど、半年～1年かかる記事もあるということを知って、プロの人でもそれだけの時間がかかるということに驚きました。今回の講演では、正しい情報とそうでない情報の見分け方を学習しました。そこで私が大切にしたいことは、情報を得る場所です。正しい情報を得やすいのは、新聞やテレビです。でも今すぐ情報を得たいとき、この2つが無いことが多いし、ネットニュースを見ることがほとんどです。なのでネットニュースを見るときは、そのニュースを発信している会社を見たり、だれが発信しているかが分かるニュースを見たりすることで正しい情報を得やすいと思います。なのでこれからは、これらのことを意識して正しい情報かそうでない情報かを見分けていきたいです。

きょうはしつもんにこたえてくれて
ありがとうございました。
ぼくはいつもニュースを
みたりしんぶんおよむことも
いままでなかった。
きょうも講演を聞いてこれか
らはよんでもいこうとをもった。
うをついたりだましたりしたり
つかまたりしたらしけないと
おもった。

前，動画で見た，ツイートがのっていたり，デマなどのニュース
新聞をつくるときに気を付けていることについて知れた。
新聞はとっていないけど生活の中でペットのトイレのところ
を変えるときに使っているから，時々見出しなどで
気になってみることがたまにあるので，そういうつくりに
しているのが本当にすごいなと思いました。
マスコミはTVにうつると強いんな感じがして，よいイメージは
なかったけど，話をきくと，「本人に信じてもらってから」と
言っていたから，そういう所まで細かくしてて，すごい
あと半年や一年かかる記事もあるっていってたから，
長い間大変だと思った。少しのミスでもよくないし，
わざとだとクビになると知ってかなりおどろいた。
十数ページもあるから誤字がないかとか，かくにん
するのは大変だし，つかれそうだと思った。けど，みんなに
情報を届けてよろこんでもらってうれしいという風にいっていて
そんけいする。

私はこのNIE講演を聞いていろんな責任があるのだなぁと思いました。誤字・脱字があると給料が減るのは本当に責任重大だなと思いました。朝刊と夕刊があって新聞1枚でも何千字とありそうな字を素早く打てるのがすごいと思いました。調査に半年や1年かかるのは心が折れそうだし、ちゃんとした誤った情報を聞いていないかを調査中に考えなくてはならないので私にはできないなと思いました。

前までは新聞をとっていたけど今回の講演を聞いて新聞の裏にはこんなにも重労働で頭の使う職業なのだなぁと思いました。

新聞はいろいろなニュースを取りあつかっていてより見やすいことを心がけていることにかっこいい仕事だと感じました。

聞いて思ったことはライオンの話は合成だったとか、京都アニメーション放火の話を聞いて思ったことはきちんと情報を見きわめて事件やデマに巻き込まれないようにすることが大事だと思いました。他にも、フェイクニュースを広めたりしてしまったらばっ金になったりすることを知って私たちもばっ金になる可能性があると思ってSNSやニュースを見ないといけないなと思いました。そして印象に残っている記事などを見てボーガンを使ったりする事件を見たりして怖いなと思いました。新聞の記事をまちがえたら給料が下がるのは怖いなと思いました。プレッシャーを持って情報をみんなに届けている新聞記者はすごいなと思いました。私はもっと気を付けてネットを使おうと思いました。そして新聞を作るのに1日もかかるなんて大変だと知りました。1年くらいかけて作っている記事がある

浜田記者の話を聞いて、新聞記者も仕事の一つとして、とても大変だなと思った。京都アニメーションの放火事件は、自分も、ニュースを見ていたので話の内容はよくわかったし、デマ情報の、能登の地震のライオンが出たというやつも、ただ、人をからかうだけだと思ったことが、ある一人の人が信じてしまったら、いまのSNSなら、すぐに拡散されて、いろんな所に出回るから、すぐいろんな人が信じて、また拡散、こんなことになってしまうなんて、思ってなかったと思うけど、なってしまったから、自分もなにかを信じる時や、とうこうする時は、気を付けて、したい。新聞記者は、いろんな人に、より早く、正確な情報を、伝えなければならないので、すごく大変なお仕事だなと思った。そんな人たちがうっとおしく思われるのは、しかたなくはないけど、それが仕事だから、心が折れない所がすごいと思った。

今回、NIEの講演を聞いて、僕が一番心に残った内容は、新聞記者がにくまれながらも、正しい情報を発信しているということです。京都アニメーションの事件なども、世間の目よりも、被害者遺族の思いを第一に考えて取材したり、記事をかいていると知りました。このことを知って、今までは新聞を含むメディアは芸能人などのプライベートに入り込んで、情報をさらし上げるイメージがあったけど、そのイメージがくつがえされて、メディアに対して好感を持てるようになりました。でも、SNSでのデマ情報の拡散など、世間を混乱に陥としいれる程の影響力を持っていることが分かったので、これからはメディアを信じすぎず避けすぎずという、適度な距離感を持って、うまく活用していきたいと思います。

50分間という短い時間だったけど、人生の先輩である浜田さんから貴重な話を聞けたのでとてもよい機会になりました。

NIE講演を聞いて思ったことは、まずフェイクニュースがだめなということがわかった。しかもフェイクニュースをながして、罰金で30万円近くものお金がとられることがわかった。次に、記者がどんな仕事なのかも知れた。たとえば、まちがえたじょうほうなどをかいてもまったばあいは、罰金とよわびがへっとうということがわかったし、もしそれがわざとならクビになるほどのせきにんがある仕事ということがわかった。フェイクニュースにだまされない方法がわかった。たとえば、情ほう元はどこなのかを調べるなど、どこが発信元なのかをよく調べることがたいせつということがわかった。ほかにも長い期間でしんぶんをかんせいさせるときなどがあるということもしれた。これからSNSでニュースを見たりするときにどうきおつけをしないかがわかれてよかったと思いました。

今回、浜田さんの話をしていて、記者は取材していてつらいと思う事があると思いました。なぜかというと、「京アニ放火事件」や「ボーガン殺人事件」など、亡なった方がいる事件の話をされている時に、浜田さんは、涙目でした。亡なった方に関係のある方、第三者の方などに取材していく中で、「つらい思いをしている人に話を聞くなんて失礼」「私まで悲しい」このような気持ちがあるからこそ、あのような涙目だったと思いました。実際に、このような話をされていましたが、本当につらい事だと思います。僕が大切な人をなくして、つらいのに取材されたら複雑な気持ちになりますし、取材する立場でも、相手の気持ちを考えたら、取材できなくなると思います。それでも、取材してくれる記者の方はすごいと思います。そして、取材してくれたからこそ、今につながっていると思います。フェイクニュースなど、様々な事を教えていただきましたが、大切なのは、相手の事を考えて、物事を伝える、取材するというのは、感じる事ができてとてもいい経験をする事ができてよかったです。

私が思っていた記者と少し違うくて、けっこうシビアで、他の人からも、うっとおしいとか、けっこういやがられている中、浜口さんは、人のためにって思いながら働いていてとても感心しました。私が知っている事件やニュースも浜口さんが手がけていてかげで世の中を支えているヒーローにも思えました。私は、この話をきいて、2つ大切なことに気付けました。1つ目は、フェイクニュースについてです。熊本地震の時にあったライオン事件今でこそできる犯罪で、自分でも簡単にできる。でも、絶対にしてはいけないと思うし、不安な気持ちの中もっと不安にさせるから悪ふざけでもしてはいけないことが、よりいっそう伝わりました。2つ目は、正確な情報を選ぶと言うことです。なぜかというと、特にネットニュースだけど、ネットニュースの書いていること全部をしんじるのではなく、少しあやしいとか、ありえないことがあれば、検索してみたり発信元がどこなのかを自分で見分けるのも大切だと思いました。今回の授業では、どんな仕事をしているか、そして、気軽にネットと言う広い世界にデマを流してはいけないことがよく分かりました。なので、家に帰えって家の人に言ったり、もし、ネットにデマ情報をのせようとしている友達がいたら、しっかり注意して、少しでもデマ情報が減る世の中に近づけるために、自分や周りの人たちからデマ発信者を減らしたいと思いました。

私はニュースはあまり見た事がありませんでしたが、今日の授業をうけて大人になって、SNSでニュースを見るときに気をつけないといけないことが分かりました。SNSでニュースを見るときは、記事の最後の新聞社会や、その記事がどこから発信されているかを見て正確な記事なのか信じていいのか確かめる事やツイッターなどの誰でもウソの情報があげれる記事をあまり信じすぎない事など気をつけないといけないことがたくさんありました。

特に私が初めて知ってビックリしたことは、SNSなどにウソの情報やひぼうちゅうしょうをすると罪金だということです。全世界の人ほとんどが利用しているので、ひぼうちゅうしょうしている人はどうやって特定しているのだろうか？何万人もひぼうちゅうしょうしている人がいると、どうするのか？（一人一人罪金させるのか？）知りたいです。

記事は、うっとうしいなどと思われていることがほとんどだと思いますが、みんなに正確な情報を伝えるためのお仕事です。今後は、たくさんの新聞、ニュースを見ようと思いました。

私がこのNIE講演を聞いて感じたことは、
ネットニュースを見ただけではじしっか分からんから、
発信元や情報元などを確認してだまされ
ないようにしたいです。(熊本地震のときの
ライオンみたいなデマに)
1つの事件にどれだけな時間がかかっている
か、そして、しんぞくの人の気持ちを考えながら、
話しを聞いていることなど、いろんなことが
知れたのでよかったです。
そして新聞の中でミスがあったら、次の
新聞のスペースであやまらないといけない
ことや評価がさがったり、お給料がさがったり
でいろんなバツがあることが知れました。
わざとやったクビになることなど知らないところ
まで知れたのでうれしかったし少しだけでもいいから
新聞を読んでいきたいと思いました。

この講演を聞いて、新聞1枚1枚をつくるのに、すごく大変な作業をしているのだなと感じました。人に情報を伝える側として、誠意をもって取り組まないといけないと思うし、一つのミスも許されないというギリギリの立場で作業しているのだと思いました。今の世の中はSNSで、いろんな情報を得られるけど、その分フェイクニュースが多いというのがあるから、少しでも正確な情報を得られる新聞を大切にしないといけないなと感じました。また、記事を書くという仕事はどうしても不評を受けやすい仕事だから、そういうところも大変なんだなと思うし、日々記事を書き続けてくれている記者の方々には感謝するべきなんだなと思いました。記者の方がフェイクニュースを書かないようにするのも大切なことなんだなと思ったけど、その記事を読む側の人も気をつけないといけないのだと感じました。全ての記事を信じずに正確な情報を見分けることも大切だと思います。

事件の真実を自分で確められる、記者という仕事は、良い仕事だと思いました。でも、間違えがあれば、評価が下がったり、給料も少なくなったり、最悪クビになることもあると、今日初めて知って、大変そうだと思ったけど、やりがいもありそうだし、できたときの達成感はすごそうだなとも感じました。この、NIE講演は、私にとって勉強になることがたくさんあったので、これから、この情報は本当の情報かどうか、分からないな、となったとき、この講演を思い出してしっかり本当のことを確められるようになりたいです。
質問にもていねいに答えてもらって、分かりやすくて、そういうことなんだ！となることもたくさんあったので、このNIE講演を聞けて、良かったなと思います。

。浜田記者さんの話で思ったことは、SNSなどのデマは人を混らんさせるものだけじゃなく、自分にも悪いことが返ってくるんだなと思いました。特に、びっくりしたことは記者であるんをたずねるとき、答えない人がいたりすることです。私が一番苦労してるのは、情報の写真と思ってたけれど、きくことも大変なんだと思いました。私は、デマを流して嘘とわかったら、警察とかはいかないと思ってたけど、罰金などが与えられることがあることはじめて知れたし、デマが広まるとこんなことがあるんだと知れたのでよい経験とおもいました。。私は、デマで人々をこんらんさせてるんだなと思いました。デマが悪いことでも中にはしてしまった人もいるんじゃないかと私は思いました。なので、私はあることを調べててそれがデマかほんとうが見ぬくことができるようになりたいと思いました、文などを細かく確認したり、その画像があればそれが本当か調べたりすることでフェイクニュースに少しはだまされないのではないかと思います。なので、これを生かして、調べるのは切ことかで調べていこうと思いました。

僕はこのNIE講演を聞いて思ったことが、二つあります。一つ目は、記者の方は、事件や事故の記事のインタビューをするときに、「怖い」や、「本当にインタビューしても大丈夫かな」というような感情があっても、勇気を出して、インタビューをしにいくということをすごいと思いました。

もう一つは、自分の私情を入れずに記事を書けるということです。僕だったら私情を入れてしまいそうなのですごいな、と思いました。

ぼくは、NIE講演を聞いてまた新しい知識がついたなと思いました。今日聞いた事の中で個人的たいんしょうに残っているのは、仕事の事とか新聞をつくるのにどれだけ時間がいるのかです。仕事の事にかんして、しゅざいするときは相手の気持ちになってするとかです。新聞をつくった後は誤字・脱字がないかをかく認するとか、もし新聞にまちがいなどがあるとすごくおこられたり、評価やおきゅう料などがさがりそれがもしわざとかであればクビにされることもあるとかです。新聞をつくるのにいる時間は旧いるそうです。とてもたいへんなのにそれをずっとつづけれるのはすごい事だなと思いました。

新聞き者は、1人の人だけにしゅざいしているんだと思っていたけど、じっさいは、ちがうくて、1人の人だけだと、まちがった情ほうがあったりするかもしれないから、本人とか、近所の人、けいさつの人など、じけんにかかわっている人たちに聞いてまちがっている話がないようにしているんだと、はじめて知りました。ほかにも、き者って、なんでも、えんりょなしにはなしを聞いてるイメージがあったけれど、ぜんぜんそんなことなくて、はなしをしてくれる人の気持ちも考えたり、なかなかじょうほうをおしえてくれない人たちに安心してもらえるようにしてはなしを聞いているとしって、ビックリしました。今日は、いろんなことをしれて、よかったなと思いました。

NIE講演なんて、めったに聞けないと思ったから、はじめて聞けて良かったです。そして、私の家は新聞をとってなくて、あまり新聞を読まないから、どういうふうに記事を書いているのか。とか、新聞をつくるのにどのくらい時間がかかるのか。とか、色々、知らないことを聞けて良かったです。デマや、悪ふざけで乗せたツイートなどが拡散されたり、人のめいわくになったりするので、悪ふざけでもしたらだめだと思いました。デマに流されずに、記者の方が言っていたように、1度、うたがってみて、本当か。などと、他のサイト(ニュース)でしらべて確かめようとしたり、気をつけたいなと感じました。

今回、NIE講演ということで、本当の新聞記者さんに来ていただきましたが、とても貴重な体験をできたと思います。いつも私たちが読んでいる新聞を書く人が色々な事を教えてくれるのはなかなかないです。僕が特におどろいた(そうだったんだ)のは取材、インタビューで心がけていることでした。インタビューの中でもその情報が必要なのか考えられるのがすごいと思ったのとインタビューでインタビューを受ける人の気持ちを考える、っていうのがすごいと思いました。今回初めて知ったのはそのインタビューすることがを裏をとる、っていう事です。これから、SNSや、色々な所で情報を得ることがあると思います。そういう時に今回教えてもらったように1度立ちどまって、それが本当なのか?などを考えるようにしていきたいです。

私は今まで新聞やネットの記事に特に興味はなかったけど、
今日、お話を聞いて、少し興味をもちました。
記者や、取ざいにこたえる人、色んな人の協力で1つの記事
ができているのがすごいなと思いました。
なので少し、目に入った記事だけでも読んでみようかなと思いました。
自分も誰かに情報を伝える時は工夫したりして、
相手が聞いて「知りたい」と思えるようにしたいです。
デマ一つで世の中が混乱をおこしてめいわくをかけるので、
情報は間違っていないのか、確信的な情報なのか
しっかり確かめてから情報を発信したいです。ok.
全てを信じすぎずに、少しうたがいながら、
1つ1つの情報を大事にしていきたいです。
情報のあつかいにはよく注意して、
みんなが楽しく過ごせるようにしたいです。

NIE講演を聞いて思ったことは
ウソの情報がないかを考えて、読んで
いきたいです。また、1つの情報だ
けできめつけないで他の情報を
見たり、他の人との話しを聞きたい
と思いました。新聞は、いろんな
人の話を聞いて本当のことを考えな
がら書いていてすごいと思い
ました。また、新聞は1人で書い
ているのではなく、いろんな人に見
てもらって書いていることが分かっ
て勉強になりました。ニュースは
テレビで見ることが多いけど新聞
でも読もうと、NIE講演で
思いました。

今回、新聞記者の人に会えるなんて
人生で初めてだし、今後もうない
機会だと思うけれど、
メディア学習を通して、今この時
代にどうそれと付き与っていくかを
学べたと思う。確かに言われてみれば
ニュースを見たら情報の出所など
を特に気にかけずへーとか思って
見ていたので一回立ち止まって、冷静に
考える、という行為はとても大切だと
感じました。また、日頃見ている新聞
もすみからすみまでよく考えられて作られて
いる、と言うことはおどろきでした。今回こう
して、自分達見る側の視点だけじゃなく、作る
側の目線も知れたのでよかった。

間違った情報を信じないためには、やっぱり、落ちついて、一回立ち止まってみることが大切だなと改めて感じました。　SNSを見ていると見た情報をそのまま信じてしまいがちだけど、いろんな情報を見比べたり、他の人に相談してみたりするのもいいなと思いました。

私がおどろいたのは、新聞記者の人は取材に1年もかかるってとこです！すごい

そんなにかかるんやぁ～って思ったけど、その記事を新聞にのせた時の達成感は、すごいだろうなって思いました。

それだけ、1枚の新聞にかける思いが強いからこそ、続けられることなんだろうなってことも感じました。（私じゃ絶対続きませんね…笑）

質問のときに言っていた"働くやりがい"にすごいなって思いました。

「働くやりがいは人のためになること」「これは、"人"にとっても大切なこと」って答えていて、かっこいいなぁ～って感じました。

私も、人に感謝される、人のためになる人になっていきたいなと思いました。

新聞は毎朝あたりまえかのように作られてみんなの手にとどけど毎日ちがったないようをかいていてすごいと思いました。みんなの1日のために記者たちは、つらいおもいをしながらがんばってくださっていてすごいと思います。ときにはなんかげつもかかってしゃざいをしたりしてもうまくいかないこともたくさんあるとおもうけれどあきらめずにがんばってくださるおかげでみんなに本当の事を伝えれてたいへんな仕事だと思いました。そんな記者方にかんしゃしたいです